

# 平成 15 年度 事業計画書

(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)

財団法人インターネット協会は、世界規模で急激に進展するインターネットの健全かつ一層の発展を推進することにより、わが国経済社会の発展と国民生活の向上に資することを主たる目的として平成 13 年 7 月 1 日に設立されました。

これらの目的遂行のため、財団法人インターネット協会では、インターネット関連技術の調査研究、インターネットの普及促進、セミナー開催などに加え、ルール&マナーの普及や各種国際協力に貢献してきました。

最新のデータによりますと、わが国のインターネット利用者数は約 6 千 9 百万人、人口比でおよそ 54.5%、また世帯普及率では実に 81.4%に達しています。特に最近ではブロードバンド環境が急速に進み、平成 14 年末時点でのブロードバンド加入数は約 8 3 0 万件に達していますが、この増加の傾向は今後も継続するものと思われま

このような状況下において財団法人インターネット協会としましては、インターネット利用の普及促進という当初の目的は実現しつつあると考え、今後の活動の中でこれまでの活動テーマについては随時大胆に見直しを行い、真に意味のあるテーマに取り組むよう努力します。このため平成 15 年度は従来の活動に加えて以下を重点活動テーマとしてインターネット利用の一層の普及促進を図ることとします。

## ユニバーサルアクセス

地域のインターネット利用促進をはかり、誰でも、何時でも、何処からでも、利用できる利用環境、すなわち、利用者層、地域、空間に関わらず便利かつシームレスにインターネットが利用できるような環境作りについて検討する。このため IAJapan 内にタスクフォースを作り、順次全国の自治体、プレスに働きかけ勉強会、セミナー等を開催し全国的会合に発展させる。

## 次世代を担う人材の育成

インターネットに関する最新技術を有する技術者の育成、およびブロードバンドコンテンツ等新しい利用形態による次世代ユーザーの育成を図る。このためインターネット利用に関する検定の実施、リテラシー向上および専門技術者の育成の教育、研修の実施などを通して、あらゆる面でのインターネット次世代を担う人材の育成を図る。

会員向けサービスとして、主管両省との関係を密にし、政策説明会を適宜開催すると同時に、類似の目的を持つ関連他団体とも交流を深め情報交換を密に行なうこととします。

## 1 . 自主事業

### 1 - 1 調査研究活動

#### 1 ) ユニバーサルアクセス

地域社会におけるインターネットの普及促進をはかり、利用者層や場所、空間に関わり無く便利で快適な利用環境作りの検討を行なうとともに、情報通信基盤から応用面にわたる諸課題について調査研究する。

#### 2 ) 研究部会・委員会活動

主として会員を中心に、セキュリティ、ブロードバンド、Java、著作権問題など重要なテーマ毎に研究部会または委員会にて勉強会、セミナーなどを実施する。テーマは随時見直して最新の技術、システム、機器について調査研究する。

### 1 - 2 普及促進および出版活動

#### 1 ) イベント・セミナー

インターネット関連技術の最新動向の普及・指導を目的としたイベント、セミナーを行なう。また、他団体が主催する同様な目的のイベントを支援する。同様な目的のイベントが数多く企画されていることから、他団体との協力、分担を図り、主催、出展、協賛等最大の費用対効果を得られるよう考慮する。

#### 2 ) 出版活動

機関誌 **IAJapanReview** の発行（年4回）およびインターネット白書（年1回）の監修を行なう。

### 1 - 3 教育、研修活動

#### 1 ) ルール&マナー、リテラシー検定

インターネットの利用技術、利用マナー、危険回避等に関する知識を子供から大人まで全ての人に、家庭、学校、企業など全ての場所で普及させるため、ルール&マナー検定を行なう。また高度な専門知識に関する検定を関連機関等と協力して行なう。

#### 2 ) 研修活動

技術者育成を目的とした研修活動を行う。

#### 3 ) ThinkQuest 活動支援

昨年度に引き続き、ThinkQuest の広報活動を支援するとともに、作品の審査、表彰などのサポートを行う。

## 1 - 4 国際活動

### 1) 国際協調活動

W3C や IETF などのインターネット関連技術規格化会議に参画し、調査を行なうとともに、その動向を伝える報告会の開催、資料提供等広く情報提供を行なう。ICANN、APRICOT など国際的機関の活動について、参加報告会、シンポジウム開催など活動支援を行なう。

### 2) IPv6 普及促進支援

IPv6 普及促進のため、国際会議等へ講師の派遣を行うほか、研究会活動や検討合宿などの実施を引き続き行う。

### 3) AsiaPacific Broadband Summit 2003 開催支援

中国および韓国のインターネット協会と連携を深め活動を推進していく。また、2 回目の開催となる「AsiaPacific Broadband Summit 2003」(北京)の開催支援を行う。

## 2. 受託事業

### 2 - 1 国庫受託事業

#### 1) レイティング・フィルタリングシステムの普及促進事業

レイティング・フィルタリングシステムのサービス提供のための運用を引き続き行なうと同時に、今後のあり方について連絡協議会で検討する。また、関連省庁、自治体、学校その他と緊密な情報交換を行い、本システムの普及促進を図るとともに内外のレイティング・フィルタリングに関する動向調査を行なう。

(参考)

### 財団法人インターネット協会組織図

